



秋の長雨シーズンをぬけると目の覚める鮮やかな青空が広がりました。いよいよ紅葉の時期を迎えました。

私ごとですが、この二ヶ月ほど減量に取り組みました。一日のうち、朝晩は豆腐を少したべて、食事としては昼一食で過ごすという結構過激な方法です。最初のうちはみるみる落ちていきますが、ある時期からあまり落ちなくなります。これは、食べないことで体の自己防衛の機能が働き、省エネモードに入ると推測しています。普段は飲もうともしない野菜ジュースが飲みたくなったりする変化もありましたが、一番驚いたのは、栄養のバランスなど考えなくても、蓄積した「脂肪」だけでも生きられるという事実です。これって、災害がやって来て食料不足に陥った時には太った人の方が生きのびる可能性が高いということですよ。何よりも、体の動きが軽くなりました。現場で足場に上るのも軽やかになりました。

さて、今月は柿渋についてご紹介します。日本古来の塗料として知られていますが建築で使われることも少なくなりました。それは、工場でウレタンなどで塗装されてくる材料が多くなったことありますが、木の特性を生かさないで使ってきたことにも起因します。木は呼吸していて、調湿作用があります。弊社ではこの塗料を使う仕事が増えています。自然塗料とあわせて是非お読みいただければと思います。

この美しい秋を元気にお過ごしください。

話題の自然塗料 柿渋を塗る

自然塗料はドイツ製が多い



上から順に柿渋・柿渋ペイント黒
柿渋ペイント赤 の各色(木は杉)

柿渋は青い未熟の渋柿からとった液体を酒やみりん、醤油や酢などと同じように微生物の働きにより発酵させ、熟成させたものです。

古くから竹、紙、布、木の防腐剤、防水剤、染料剤として使われてきました。木材の色を均一にして、汚れを目立たなくする目的でも使われました。

天王柿、つるの子柿、青曾柿などの品種は多量のタンニンが含まれています。人体に吸入、摂取、接触しても有害物質を一切含まず、ホルマリン等の化学物質を無害化します。

また、やけど、しもやけ、血圧降下剤、二日酔い予防として、さらに毒蛇、むかで、蜂、などタンパク毒の中和剤としても用いられてきました。アトピー、シックハウスにお悩みの方に最適、大気、土壌、水質汚染の心配もない非常に安全な塗料です。(トミヤマの資料を参考にしました)

弊社のSさんは今年の夏のこと、自宅にてムカデにかまれたそうです。その日の工作中、やや腫れてきたので現場にあった柿渋を塗って治療？しました。



大洲城天守閣

自然塗料といえばオスモトリボスが有名です。どちらもドイツ製の塗料、ほかにはシッケンスはオランダ製、やはりヨーロッパ製です。最近になって、私が知ったのがプラネットカラー(ドイツ)です。

恩師である富士川先生(三宿工房)から届いた暑中見舞いに大洲城(愛媛県)の写真とともに「復元天守閣が第七回国土技術開発賞最優秀賞(大臣賞)第一回ものづくり日本大賞(内閣総理大臣賞)に選ばれました」とあるではありませんか。

その後その大洲城と思われる写真を使ったパンフレットをもってやって来たのがプラネットの藤田さんでした。その大洲城の木の部分、黒い塗料がプラネットの製品だということです。私もプラネットを使ってみることにしました。

自然素材への関心が高まってきて、塗料や木部の保護材の選択もいい家をつくるための大切な要素となってきました。少々高くても、安全無害で品質の高いものが求められるようになってきました。



柿渋ペ
イント
をぬった
ところ

発行者 ご連絡先
秋葉建設株式会社 秋葉 忠夫
〒289-2163八日市場市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL <http://woody-akiba.com/>
ご意見ご感想お待ちしております。